【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第２区分
【発行日】平成17年9月8日(2005.9.8)

【公開番号】特開2003-285194(P2003-285194A)
【公開日】平成15年10月7日(2003.10.7)
【出願番号】特願2002-88202(P2002-88202)
【国際特許分類第７版】
　Ｂ２３Ｋ　33/00
　Ｂ２３Ｋ　 9/00
　Ｂ２３Ｋ　 9/028
【ＦＩ】
　Ｂ２３Ｋ　33/00　　Ａ
　Ｂ２３Ｋ　 9/00　　５０１Ｐ
　Ｂ２３Ｋ　 9/028　　Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成17年3月17日(2005.3.17)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　配管を突き合せて溶接によって接続した突き合せ溶接構造において、
　前記配管の端部に形成された溶接用ルート部のルート間隔が１．０ｍｍ未満であることを特徴とする突き合せ溶接構造。
【請求項２】
　配管の端部に開先加工を施して溶接用ルート部を形成し、該溶接用ルート部のルート間隔を１．０ｍｍ未満として前記配管を突き合せて溶接する請求項１記載の突き合せ溶接構造の製造方法。
【請求項３】
　突き合せて溶接した配管の内部に易重合性物質を含む液体を通じる易重合性物質を含む液体の取扱方法において、
　前記配管の突き合せ溶接が請求項１記載の突き合せ溶接構造であることを特徴とする方法。
【請求項４】
　請求項３記載の易重合性物質を含む液体の取扱方法において、
　前記突き合せ溶接が前記配管と易重合性物質を含む液体を取り扱う機器とを接続したものであることを特徴とする方法。
【請求項５】
　易重合性物質を含む液体を輸送する配管が突き合せ溶接構造により接続されている易重合性物質を含む液体の取扱装置において、
　前記突き合せ溶接構造が請求項１記載の突き合せ溶接構造であることを特徴とする装置。
【請求項６】
　請求項５記載の易重合性物質を含む液体の取扱装置において、
　前記突き合せ溶接構造が、前記易重合性物質を含む液体を輸送する配管と易重合性物質を含む液体を取り扱う機器とを接続していることを特徴とする装置。